# 平成３０年度　事業報告

Ⅰ 概要

四日市市シルバー人材センター（以下「当センター」という。）は、高齢者が健康で、意欲を持ち続けながら、その知識・経験を活かして就業することで充実した時間が持て、かつ、地域社会の発展に貢献できるように、「生きがいと地域を結ぶ組織」を目指して運営してまいりました。
また年度を通じ、シルバー人材センターの理念「自主・自立・共働・共助」を遵守した業務運営を心掛け、第4次中期計画や平成30年度事業計画に基づき、理事会、各部会・委員会に諮りながら事業を進めました。

その結果、平成30年度事業計画の三つの目標値に対する実績は次のとおりでした。

| 項　　目 | 目　標　値 | 実　　績 |
|---|---|---|
| 会 員 数 | 1,535人 | 1,465人 |
| 契約金額 | 740百万円 | 789百万円 |
| 就 業 率 | 87.0% | 88.4% |

第4次中期計画の初年度は三つの目標値のうち「契約金額」と「就業率」の2項目は目標を達成することができました。「契約金額」は目標値を大幅に（約50百万円）超えることができました。しかし、最大の課題とした「会員数」が目標未達となり次年度の大きな課題として残りました。

平成30年度の主な取り組みは、次のとおりです。

⑴ 会員の拡大について

① 最大の目玉は、12月３日JR四日市駅構内にサテライトオフィスをオープンしたことです。ハローワークに来られた方にPRする目的でしたが、日を追うごとに常駐している職員の練度が向上し、随時入会説明をして会員の入会手続きから就業のマッチングまでしています。また、JRを利用されている企業関係者から求人の相談が持ち込まれるのは、想定外の成果でした。

② 入会説明会の頻度を倍増しました。定例入会説明会が毎月第2水曜日だけだったのを、第4水曜日に「あさけプラザ」で行うようにしました。また、入会希望者のスケジュール、就業のタイミングに合わせて随時入会説明会を行いました。

③ 地区からの要請に応じ、7月と11月に市内各３箇所で地域入会説明会を開催しました。

④ 入会説明会に参加した人で、入会されていない人に、入会を勧める文書を郵送しました。また、一般市民の方で技能講習に参加された方にも、同様の文章を郵送しました。

⑵ 就業機会の確保について

① 「就業募集情報」をより見やすいものに改定しました。また、未就業会員全員に「就業募集情報」を郵送しました。

② 年末、年度末の未就業会員ボランティア就業の実施にあわせ、参加者に「就業募集情報」を紹介しました。

③ 商工会議所の諸行事に理事長が積極的に参加し、新規の発注者を開拓するとともに、事務局長と両課長は既存発注者との関係を強化するため発注者への訪問を積極的に進めました。

④ 就業マッチング要員の熱意溢れるマッチングで、会員・発注者間のコミュニケーションが深まり、適正就業につながりました。

⑶ 安全・適正就業の推進について

① 安全委員会を毎月開催し、事故発生の把握、安全適正就業推進大会の開催、パトロールの実施、各種講習会の開催、安全標語の募集、街頭啓発に取り組みました。また、健康診査の促進にも努めました。

② 各職群の班長が安全リーダーとして、各職域での安全就業の確保に取り組みました。また、その取り組みを全職群で共有するため、拡大安全委員会を開催しました。

③ 事故報告があると業務課長が自分の目で現場を確認し、原因を追究した上で「速報 安全就業だより」を作成し、再発防止に努めました。

④ 常に就業状況をチェックし、働き方が請負と派遣に合致しているか検討しています。

⑷ 地域活動の充実について

① ブロック会議に事務局長・両課長が参加し、当センターの運営状況や課題を共有化するとともに、各地区の状況、課題等について情報交換しました。

② 班長会議を全地区で開催し、ブロック会議での議論を各地区で共有化するとともに、地区内の状況、課題を話し合い、会員の拡大、つながりの強化に努めました。

③ 地区長・班長全体会議を開催し、事業実績、平成31年度の事業計画（案）について説明をしました。安全委員会・女性部・会員互助会から年間の活動について報告がありました。
特に、今回は当会議の意義と当センターの全国的なポジショニングと方向性について理解していただき、次年度の会員拡大の目標をいかに自分たちの目標として捉え、いかに行動していくかを検討していただくことをお願いしました。

⑸ 情報発信の強化について

① 「虹の橋」（年2回発行）、「センターだより」（年3回発行）を会員向けに発行し、また、ホームページからでも見れるようにしたことで、当センターの活動をより広く、より深く知ってもらうことができるようにしました。

② 春のエキサイトバザールや夏の大四日市まつりに参加することで、広く市民にPRをすることができました。また、はじめて万古まつりでもチラシの配布をしました。会員拡大のため、互助会や女性部に協力を求め、フェスティバル・グラウンドゴルフ大会・ふれあいクッキングを会員でない方とのふれあいに重点を置いた企画にしたことにより、多くの一般市民が参加され、PRにつながりました。

③ 市役所を通じたPRとして、市広報に事業紹介やイベント紹介の記事掲載ほか、市民課や各地区市民センターの窓口にPRが入った封筒を置きました。また、新たに各地区市民センターのパンフレットスタンドにパンフレットを置くスペースを頂きました。

④ 「四日市ホームニュース」は隔週の土曜日に発行され、1回は入会説明会とイベント案内を広告として掲載し、1回はセンターの行事を記事として掲載してきました。1年が経過し、このパターンが定着し入会説明会で反応が出てきているので、広告の諸条件を見直しながら次年度もこの取組みを継続します。 また、年2回発行の四日市市老人クラブ連合会の機関紙「四老連いきいきだより」にも広告を掲載しました。

⑤ 6月と7月にはFacebook広告で女性をターゲットに「ピッコロ」をPRしたところ、ホームページへのアクセスが倍増したほか、それを見たタウン情報誌「ユーよっかいち」と女性向けの情報誌「パレット」の記者が取材に訪れ、記事として大きく掲載されました。

⑥ 地元のケーブルテレビでイベントをニュースとして放送されるとともに、3月から、FMラジオにセンターの職員が出演しPRする枠を設けていただくなど情報発信に取り組みました。

⑹ 情報収集の強化について

① 当センターのことを全員がよく知ること。どのくらいの規模で、どこに向かって進んでいるのか、全国で1,325あるセンターの中でのポジションを理事会、地区長・班長全体会議で示しました。会員数・契約金額のランキングが想像以上に上位である事に自信と誇りを持っていただけたと思います。

② 会員のことを事務局がよく知ることにも取り組みました。今まで長年にわたり更新がされていなかった会員のデータベースを洗いなおすべく「会員状況調査票」を送付して回答していただいています。未だ回収段階ですが、次年度に登録・分析を済ませ、活用します。

③ 11月7日～8日、埼玉県草加市と千葉県柏市のシルバー人材センター及び東京都の全国シルバー人材センター事業協会へ視察研修に行きました。シルバー人材センター事業の元締めが今何をしようとしているか、また、先進SCと紹介されている二つのシルバーがそれをどのように受け止め、どのような動きをし、どのような成果をあげているかを知ることができました。また、改めて県内のシルバーを見ても参考にしたい活動をしていることが分かりました。

平成30年度の取り組みを通して、次のことが課題になってきました。

① 「人手不足」が大きな社会問題になっていますが、サテライトオフィスで見られるハローワークからの流れを見ると仕事を探している人はたくさんいるのです。如何にしてこの人たちに会員になってもらい、早く仕事の紹介ができるかに注力しました。
入会説明会終了後、業務課員全員で参加者の話を聞き、仕事の紹介をしました。「仕事ありき」→「会員になる」という流れと、「利便性」と「スピード」を重視した対応で入会の専決承認が増えました。 ただ、もう少し量的な拡大が必要で、更なるPRの拡大が課題として残りました。

② 「未就業会員」が「会費未納者」になって退会する人数は今年度も同様でした。そして、明らかになったのは、退会を抑えることは大変難しいということです。年齢による肉体的な衰えと健康を理由に退会される人に会員の継続を勧めることはできません。それ以外に、「未就業会員」で退会される人も「仕事を探している人」と「他で仕事をしている人」とに分けられ、今年度は後者の割合が圧倒的に多かったように思います。特に他で仕事をしている人はシルバーの会員でいる必要が全くありません。
次年度も約200人の未就業者のうち、約半分が未納者になり、その約6割が退会するでしょう。出来ることは、「仕事を探している未就業者」を見極め、きめ細かく対応することです。

③ 初めて外国籍の方の入会がありました。市民であり、仕事をしていくうえでのコミュニケーションに問題がなければ入会してもらいます。今後、そのあたりの判断・見極めが課題となってきます。

これらの課題に対処するために、次年度も ①『当シルバーの認知度向上』 ②『入会希望者への利便性向上』 ③『会員の声を聞く組織』の三つを主要なテーマとして事業に取り組んでいく方針です。
認知度の向上は年間を通じて根気よく、退会抑制の取組は機を見て行動しなければなりません。これらの取り組みに柔軟に対応できるよう努めていきます。

そして、これらの取り組みは、事務局だけで出来るものではなく、会員の皆様の積極的な協力を得て取り組んでいきたいと思います。

平成30年度の主な実績は次のとおりです。

| 項目 | | | | 平成30年度 | 平成29年度 | 対前年度比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 会員数 | 男性（人） | | | 980 | 956 | 102.5 |
| | 女性（人） | | | 485 | 479 | 101.3 |
| | 計（3月31日現在） | | | 1,465 | 1,435 | 102.1 |
| 就業状況 | 受託件数(件) | 請負・委任 | 公共市役所 | 420 | 413 | 101.7 |
| | | | 公共その他 | 304 | 260 | 116.9 |
| | | | 民間事業所 | 3,788 | 3,961 | 95.6 |
| | | | 一般家庭 | 7,943 | 7,832 | 101.4 |
| | | | 介護保険事業 | 829 | 796 | 104.1 |
| | | | 総合事業(サービスA) | 680 | 207 | 328.5 |
| | | | 上記以外 | 6,434 | 6,829 | 94.2 |
| | | | 独自事業 | 41 | 39 | 105.1 |
| | | | 小計 | 12,496 | 12,505 | 99.9 |
| | | 派遣事業 | | 333 | 253 | 131.6 |
| | | 合計 | | 12,829 | 12,758 | 100.6 |
| | 就業実人員(人) | 請負・委任 | | 1,207 | 1,212 | 99.6 |
| | | 派遣事業 | | 88 | 76 | 115.8 |
| | | 合計 | | 1,295 | 1,288 | 100.5 |
| | 就業延日人員(人) | 請負・委任 | | 143,105 | 142,424 | 100.5 |
| | | 派遣事業 | | 9,082 | 7,610 | 119.3 |
| | | 合計 | | 152,187 | 150,034 | 101.4 |
| | 就業率（%） | | | 88.4% | 89.8% | 98.4 |
| | 配分金及び賃金（千円） | | | 639,111 | 620,366 | 103.0 |
| | 契約金額(千円) | 請負・委任 | 公共市役所 | 205,119 | 202,623 | 101.2 |
| | | | 公共その他 | 127,868 | 103,976 | 123.0 |
| | | | 民間事業所 | 264,237 | 269,488 | 98.1 |
| | | | 一般家庭 | 137,672 | 140,737 | 97.8 |
| | | | 介護保険事業 | 19,236 | 20,206 | 95.2 |
| | | | 総合事業(サービスA) | 4,337 | 1,289 | 336.5 |
| | | | 上記以外 | 114,099 | 119,242 | 95.7 |
| | | | 独自事業 | 655 | 806 | 81.3 |
| | | | 小計 | 735,551 | 717,630 | 102.5 |
| | | 派遣事業 | | 54,033 | 43,269 | 124.9 |
| | | 合計 | | 789,584 | 760,899 | 103.8 |

Ⅱ 主な活動状況

1 会員の拡大

⑴ 会員の入・退会

① 入会説明会 （単位：人）

| 説明会の種別 | 参加者数 | 当月入会者数 |
|---|---|---|
| センターでの入会説明会 | 143 | 54 |
| あさけプラザでの入会説明会 | 95 | 23 |
| 地域入会説明会 | 26 | 7 |
| 随時入会説明会 | 17 | 17 |
| 合計 | 281 | 101 |

② 地域入会説明会 （単位：人）

| 開催日 | 会場 | 参加者数 | 入会者数 |
|---|---|---|---|
| 7月 2日（月） | 富洲原地区市民センター | 4 | 1 |
| 7月18日（水） | 桜地区市民センター | 2 | 1 |
| 7月20日（金） | 日永地区市民センター | 6 | 2 |
| 11月 1日（木） | あかつき台集会所 | 5 | 0 |
| 11月 5日（月） | 内部地区市民センター | 1 | 0 |
| 11月22日（木） | 川島地区市民センター | 4 | 1 |
| 12月 3日（月） | JRサテライトオフィス | 4 | 2 |
| 合計 | | 26 | 7 |

③ 会員数の推移 （単位：人）

| 年度 | 説明会参加者 | 入会者 | 退会者 | 年度末会員数 |
|---|---|---|---|---|
| 平成26年度 | 295 | 205 | 191 | 1,507 |
| 平成27年度 | 278 | 158 | 218 | 1,447 |
| 平成28年度 | 251 | 177 | 173 | 1,451 |
| 平成29年度 | 244 | 159 | 175 | 1,435 |
| 平成30年度 | 281 | 181 | 151 | 1,465 |

⑵ 会員の資質向上

① 新規入会者研修を開催し、接遇マナーと安全就業について注意喚起をしました。

（単位：人）

| 開催日 | 参加者数 |
|---|---|
| 4月13日（金） | 12 |
| 6月12日（火） | 27 |
| 8月29日（水） | 17 |
| 11月 6日（火） | 21 |
| 平成31年 2月 6日（水） | 19 |
| 合計 | 96 |

2 就業機会の確保

⑴ 60歳代会員のへのアンケート調査　（単位：人）

| 調 査 対 象 | 対象者数 | 回 答 数 | 実施期間 |
|---|---|---|---|
| 60歳代会員すべて | 398 | 210 | 11月16日～11月30日 |

⑵ 独自事業(パソコン教室)の推進

| 開催回数 | 37 |
|---|---|

⑶ 高齢者活躍人材育成事業　技能講習

公益社団法人三重県シルバー人材センター連合会が実施する講習会を、会員の資質向上・就業機会拡大・会員の拡大に活用しました。

| 高齢者活躍人材育成事業　技能講習　（市内開催分） | | |
|---|---|---|
| 講 習 名 | 実 施 日 | 受 講 者 数 （人） |
| 育 児 サ ポ ー タ ー | 7月3日～7月10日 | 8 |
| 福 祉 有 償 運 送 運 転 者 | 12月5日・6日 | 6 |
| 介 護 職 員 初 任 者 研 修 | 10月1日～11月30日 | 12 |
| 施 設 調 理 補 助 | 6月15日～6月25日 | 12 |
| 合 計 | | 38 |

3 安全適正就業の推進

⑴ 安全委員会の活動

① 安全適正就業推進大会を7月16日(月)に勤労者・市民交流センター多目的ホールで開催しました。大会では、中央緑地運動施設班長から経験発表を、高齢者施設の施設長から「元気に仕事を続ける為に」のテーマで講演をしていただきました。

② 安全就業啓発事業として、会員に安全標語を募集し、優秀作品を安全適正就業推進大会で発表・表彰しました。

応募が61点あり、安全委員会で最優秀作品1点、優秀作品2点、入選3点を選び、最優秀作品はセンターや公共施設の入り口に掲示した他、就業報告書等に刷り込み、会員への安全啓発に利用しました。

③ 春と秋の交通安全運動期間中に、イオン四日市尾平店、イオン四日市北店でセンターのPRを兼ねて交通安全活動のチラシ配布をしました。

④ 平日の夜間と土日祝祭日の緊急連絡先を広報誌にて会員全員に通知しました。かなり浸透してきたようですが更なる周知に努めます。

⑵ 健康づくりの推進

① 会員の健康への自覚を高め、健康診断受診を促進するため、受診の有無をセンターに報告する取り組みを本年度も行いました。

| 項 目 | 平成30年度 | 平成29年度 |
|---|---|---|
| 送 付 数 | 1,459 | 1,453 |
| 回 答 数 | 617 | 630 |
| 回 収 率 | 42.3% | 43.4% |

② 事故の発生状況　　（単位：件）

| 項目 ＼ 年度 | | 平成30年度 | 平成29年度 |
|---|---|---|---|
| 傷害事故 | | 10 | 11 |
| | 住居と就業場所との移動中 | 3 | 1 |
| | 就業中 | 7 | 10 |
| 賠償事故 | | 13 | 8 |
| | 草刈機の飛び石等 | 9 | 5 |
| | その他 | 4 | 3 |
| 車両事故 | | 1 | 6 |
| 合計 | | 24 | 25 |

4 就業能力の向上

職群班ごとにテーマを決めて取り組んだ研修の実施状況は次のとおりでした。

| 職群班 | 研修内容 |
|---|---|
| 生活支援 | 家事援助を必要とする人に日常生活のサービスを提供するため、「生活110番事業」と連携して生活支援サービス班長会議を2ヶ月に1回定例で開催しました。除草班の全体会議、安全就業等の講習にも出席し、就業上でのリスクについて知識を習得しました。 |
| 介護 | 訪問介護（介護保険）事業では、要介護、要支援状態にある高齢者に対して適切な訪問介護を提供できるよう、介護ヘルパーリーダー会議とヘルパー勉強会（毎月）を開催して業務の連絡調整と知識・技能向上を図りました。また、外部講師による研修「感染症」「権利擁護」「口腔ケア」「傾聴」を開催しました。 |
| 子育て | 毎月の調整会議と研修会で知識技能の向上を図りました。年2回の研修会では外部講師を招き「心の発達とその問題」について学びました。「ピッコロ」の一時預りやイベント会場での託児件数も年々増加傾向にあり、就業会員の増加が課題。「育児サポーター技能講習会」を当センターで開催し、受講された8名のうち2名が入会されました。 |
| 剪定 | 2月に全剪定班会員対象の技能研修会を実施。32名が参加し、技能及び安全意識の向上を図りました。 |
| 除草 | 技能向上と安全作業の徹底を図るため、刈払機安全取扱講習会を2回に分けて実施し、延べ29名が受講しました。また、3月に除草班全体会議を開き、外部講師により「適切なメンテナンスこそ安全の近道」というテーマで講演していただきました。 |

5 普及啓発の推進

イベント・ボランティア活動等の機会をとらえて、次のとおり普及啓発に努めました。

| 啓発活動 | 実施日 | 場所 | 参加者数 |
|---|---|---|---|
| エキサイト四日市・バザールへの出店およびパンフレットの配布 | 4月7日、8日 | 諏訪新道周辺 | 50 |
| 春の全国交通安全運動の啓発活動でパンフレットを配布 | 4月10日 | イオン四日市尾平店、四日市北店の店外 | 63 |
| 万古まつりでパンフレット配布 | 5月12日、13日 | 万古会館 | 8 |
| 大四日市まつりの「おどりフェスタ」へ参加 | 8月4日 | 三滝通り周辺 | 30 |
| 大四日市まつり後の清掃ボランティア | 8月6日 | 諏訪新道周辺 | 31 |
| 秋の全国交通安全運動の啓発活動でパンフレットを配布 | 9月25日 | イオン四日市尾平店、四日市北店の店外 | 57 |
| 三重県シルバーの日 | 9月1日 ～ 11月15日 | 各地区22ヶ所 | 500 |
| 地域ボランティア | 随時 | 各地区23ヶ所 | 636 |
| 清掃ボランティア | 12月13日 | 近鉄四日市駅周辺 | 141 |
| 清掃ボランティア | 3月12日 | 南部丘陵公園 | 97 |

6 財政基盤の確立等

法人の運営状況を詳らかにするため、予算の執行状況を毎月理事会に報告するとともに、定款の規定に基づき理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況を理事会に報告しました。

市に当センターの経営状況等を説明し、補助金の確保にも努めました。

7 組織の強化等

⑴ 地域班活動の充実

今年度も、ブロック会議・班長会議を開催し、当センターの運営状況を伝えるとともに、会員拡大への協力依頼、地域の課題整理などの取り組みを進めました。

| 項　　目 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 |
|---|---|---|---|
| ブロック会議 | 14 | 16 | 16 |
| 班 長 会 議 | 61 | 64 | 64 |

⑵ その他の取り組み

理事会をはじめ各部会・委員会、女性部の活動の充実に取り組むとともに、会員互助会と連携を図り、会員拡大等当センター発展の視点を共有した活動を進めました。

# 事業報告の附属明細書について

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条3項に規定する、附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。